

令和3年9月15日（水）
昭和三和町
国土交通省甲府河川国道事務所
山梨県警察
山梨県

記者発表資料

—生活道路の安全性向上の取組み— 仮設スムーズ横断歩道を試行的に設置し検証 ～山梨県中巨摩郡昭和三和町西条地内における生活道路安全対策～

これまで、『生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備』を基に国土交通省甲府河川国道事務所、山梨県警察、山梨県と市町村が連携を図り、生活道路の安全対策を推進して参りました。

この度、昭和三和町と連携し「昭和三和町西条地内」において、未就学児及び小学生の移動経路・通学路となっている生活道路の安全性向上の検討をするため、仮設スムーズ横断歩道を試行的に設置し「走行速度の抑制」、「歩行者横断時の車両の停止率の変化」の効果を検証します。

【実施概要】

- 設置期間 令和3年9月21日（火） ～ 令和3年10月9日（土）
- 施工日時 令和3年9月19日（日）・20日（月祝） 9時～17時（予定）
- 設置場所 山梨県中巨摩郡昭和三和町西条地内

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ

問い合わせ先

昭和三和町役場	電話055-275-8412
●建設課 課長 望月 幸彦（もちづき ゆきひこ）	
国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所	電話055-252-5491
●副所長（道路） 松澤 尚利（まつさわ なおとし）	
●道路管理第二課 保全対策官 渡邊 行朗（わたなべ ゆきお）	
山梨県警察	電話055-221-0110
●交通規制課 次席 高橋 和也（たかはし かずや）	
山梨県 県土整備部	
●道路整備課 課長 秋山 久（あきやま ひさし）	電話055-223-1689
●道路管理課 課長 水口 保一（みずぐち やすかず）	電話055-223-1697

仮設スムーズ横断歩道の設置概要

■ 試行の目的

- 仮設スムーズ横断歩道による速度抑制や横断歩道での車両停止の状況を検証します。
- 設置の効果をもとに、スムーズ横断歩道などの物理的デバイスを本施工する際の検討に役立てます。

位置図



山梨県
昭和町

〈凡例〉

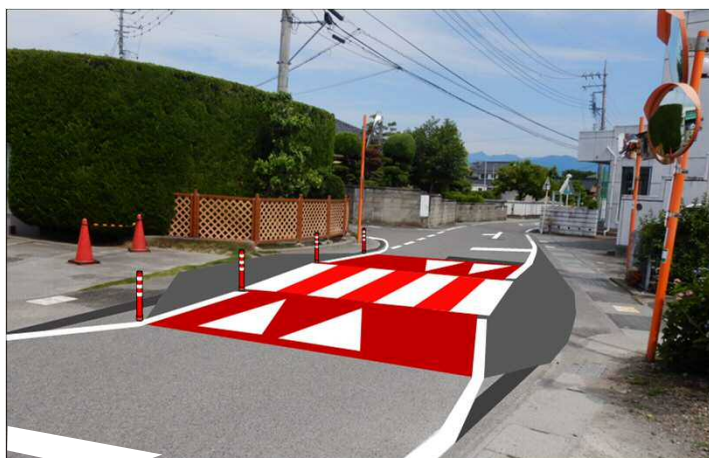
- 実施箇所
- ゾーン30
- 通学路

現地位置図



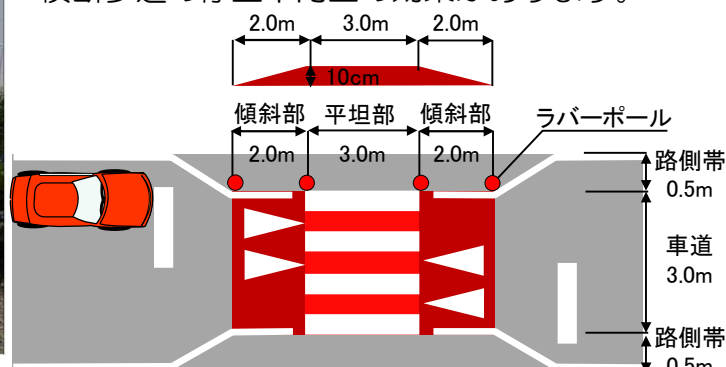
仮設スムーズ横断歩道

設置イメージ



仮設スムーズ横断歩道の概要

横断歩道部に設置するハンプのことで自動車の速度抑制効果や歩行者の視認性の向上・横断歩道の停止率向上の効果があります。



昭和町西条地内における交通安全対策の今後の取組み

関係機関（昭和町(教育関係含む)、国土交通省、山梨県警察、山梨県）で地域の課題や対策方針を考える検討会、合同現地踏査を実施し、今回のスムーズ横断歩道の試行設置の実施に至りました。



ステップ1 地域の課題を知り対策を考える

2021.6.8 対策検討会

- 対象エリアの課題について意見交換を行い、どのような対策を行うべきかを議論しました。

ステップ2 スムーズ横断歩道の試行設置の実施説明

2021.7.15 合同現地踏査

- 関係機関への説明として、スムーズ横断歩道の試行設置について説明しました。

ステップ3 スムーズ横断歩道の試行設置の実施

2021.9.21～10.9 スムーズ横断歩道の試行設置

今後の予定 スムーズ横断歩道の試行設置の効果把握

今後は、スムーズ横断歩道の試行設置中の交通状況について、交通実態調査、ETC2.0データを活用した交通分析を実施するとともに、地元関係者等を対象にアンケート調査を実施する予定です。また、今回の試行設置の結果をもとに、今後の対策について議論いたします。

○スムーズ横断歩道の試行設置による効果検証

今回、スムーズ横断歩道の試行設置において、以下の視点で効果検証を行います。

視点①：安全性（速度、横断歩行者優先の遵守率、危険事象）⇒ビデオ観測、ETC2.0データ
 視点②：地元住民の受容性⇒アンケート・ヒアリング調査
 視点③：静穏性（騒音、振動）⇒機械観測

▼交通実態調査(イメージ)

速度や遵守率、危険事象等を検証

凡例
 スムーズ横断歩道試行設置箇所: □
 ビデオカメラ設置箇所: ●
 騒音・振動計設置箇所: ○

▼アンケート調査(イメージ)

地元住民の意向を検証

ビデオカメラ設置(イメージ)



騒音・振動計設置(イメージ)



▼ETC2.0分析(イメージ)

速度、通行経路の変化などを検証